

授業科目名 <英訳>		ケーススーパーヴィジョンII Practice in Case Supervision II				担当者所属・ 職名・氏名		教育学研究科 教授 桑原 知子 教育学研究科 教授 皆藤 章 教育学研究科 教授 岡野 憲一郎 こころの未来研究センター 教授 河合 俊雄 教育学研究科 准教授 高橋 靖恵 教育学研究科 准教授 松下 姫歌 人文科学研究所 准教授 立木 康介			
配当 学年	院	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	金3,4	授業 形態	実習	使用 言語	日本語
共用科目											
【授業の概要・目的】											
<p>「ケーススーパーヴィジョンI」に引き続いて、本研究科附属心理教育相談室において担当する事例について、個別の臨床実践指導（スーパーヴィジョン）により、個別指導を行う。これを通して、見立て、ケースマネジメント、臨床心理面接に関するさまざまな位相の知（技法を含む）を、さらに深く体得していくことが目的である。</p>											
【到達目標】											
<p>自らの事例を客観的にとらえ直し、心理臨床実践に生かせるようになること。一方で、自らを内省的に振り返り、事例に深くコミットできるようになること。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>担当事例について、各自に割り当てられた臨床実践指導者（スーパーバイザー）のもとで、原則として週に1回報告し指導を受ける。指導方法の詳細に関しては、スーパーバイザーと事前に十分に相談すること。</p> <p>また、各自が受けている指導に関して、授業担当教員と他の履修生を含むグループで共有する機会が必要に応じて設けられることもある。</p> <p>（なおスーパービジョンの回数としては一年で30回を超える。）</p>											
【履修要件】											
<p>「インタークカンファレンス」「心理教育相談室相談実習」「ケースカンファレンス ～ 」も併せて履修すること。</p> <p>他研究科学生は履修不可。</p>											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>授業に積極的かつ真摯に取り組む姿勢が必要であり、それらを総合的に判断して評価する。</p>											
【教科書】											
<p>授業中に指示する</p>											
【参考書等】											
<p>（参考書） 授業中に紹介する</p>											
----- ケーススーパーヴィジョンII(2)へ続く -----											

ケーススーパービジョンII(2)

[授業外学習（予習・復習）等]

事例を担当することおよび事例をスーパーバイザーとともに検討することなど、ほとんどが授業外の学習によって成り立っている。

（その他（オフィスアワー等））

日本臨床心理士会の定める臨床心理士の倫理規定を遵守すること。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。